

経営環境

令和4年度の国内経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和し、人の動きなどに持ち直しが見られた一方、ロシアのウクライナ侵攻による原材料価格の高騰、インフレ抑制を目的とした世界各国の金融引き締め強化などの要因もあり、懸念が拭えない状況が続いています。

当地域におきましては、公共投資は高水準で推移したものの、人口流出や高齢化による人手不足や新規事業の停滞、原材料・燃料価格の高騰や自然災害への対応など厳しい状況が続きました。

事業の展望と今後の課題

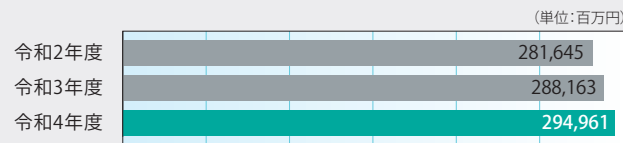
令和5年度は、3か年経営計画「北星しんきん『支援力の強化と変革への挑戦』」の最終年度にあたります。

3か年経営計画におきましては、お客さまとのリレーションシップを追求し、地域に根ざした真の協同組織金融機関として、お客さま・地域が抱える課題の解決に尽力し、幸せづくりと地域社会全体の発展成長から地域経済の力強い回復を目指しております。

地域にとって最も身近で安心して頼れる金融機関となるために、「三方よし プラスワン（お客様・地域・信用金庫＋職員）」をスローガンに、地域の皆様の期待に応えてまいります。

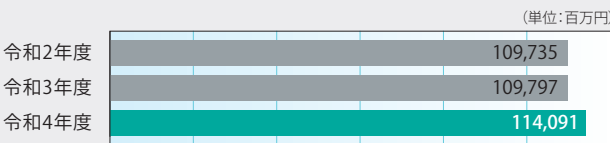
預 金

預金期末残高は2,949億円となりました。流動性預金の伸びが増加の牽引役となりました。



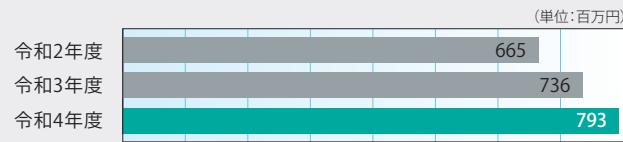
貸出金

貸出金期末残高は1,140億円となりました。貸貸用住宅向け貸出金などを中心に残高が増加しております。



当期純利益

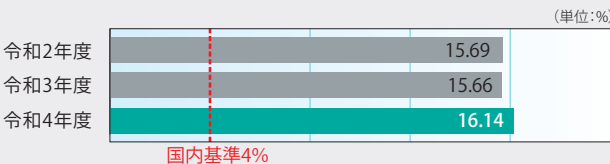
貸出金利息の増加等により、経常利益1,100百万円、当期純利益793百万円といずれも前年を上回る結果となりました。



自己資本比率

自己資本比率は16.14%と前期比0.48ポイント上昇しました。

金融機関の安全性を判断する指標である国内基準の4%を十分上回っており、今後も安定した収益確保により、自己資本の充実に努めてまいります。



最近5年間の主要な経営指標の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経 常 収 益	3,888	3,942	3,809	3,950	3,969
経 常 利 益	907	826	911	1,020	1,100
当 期 純 利 益	659	600	665	736	793
出 資 総 額	766	767	765	758	755
出 資 総 口 数 (千 口)	15,321	15,357	15,302	15,175	15,105
会 員 数	18,928人	18,759人	18,361人	17,585人	17,022人
純 資 産 額	22,294	22,304	23,152	22,538	20,623
総 資 産 額	287,786	289,725	308,172	313,444	317,524
預 金 積 金 残 高	262,031	264,175	281,654	288,163	294,961
貸 出 金 残 高	105,197	106,478	109,735	109,797	114,091
有 価 証 券 残 高	128,403	125,669	123,290	126,840	120,802
単 体 自 己 資 本 比 率	15.69%	15.58%	15.69%	15.66%	16.14%
出 資 に 対 す る 配 当 金 (出 資 1 口 当 た り)	2.0 円	2.0 円	2.0 円	2.0 円	2.0 円
役 員 数	14人	14人	14人	14人	14人
う ち 常 勤 役 員 数	8人	8人	8人	8人	8人
職 員 数	183人	181人	175人	174人	176人

(注) 1. 単体自己資本比率は、信用金庫法第89条において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき算出しております。